|  |  |
| --- | --- |
| 所属長 | 研究者 |
|  |  |

看護研究発表時の倫理チェックリスト（自己チェック）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　年　　月　　日

抄録　・　学会発表　・　院内発表　・　論文投稿

所属［　　　　　　　　　　］　研究者［　　　　　　　　　　　　］

研究テーマ［　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　］

|  |  |
| --- | --- |
| 項目 | ﾁｪｯｸ欄 |
| ■原稿について |  |
| １．発表先が提示する形態・様式に則っている |  |
| ２．表題・キーワードは、内容を適切に表現している |  |
| ３．目的は、文献検討の後、明らかにする内容が明確である |  |
| ４．研究方法（データ収集・分析方法の手順）は、具体的に示されている |  |
| ５．倫理的配慮がなされている |  |
| １）研究データは、研究に必要な情報に限られており、対象が特定される記述がない（職業、病名、家族など患者情報は最小限とし、A氏、B病院、○歳代や発達段階、上旬、病日などの表現を用いている） |  |
| 1. 個人が特定されない画像データを用いる場合でも対象者に承諾を得ている
 |  |
| 1. 対象者の尊厳がまもられた文章表現である
 |  |
| 1. 倫理委員会の承認を得たことを記載している
 |  |
| 1. 対象者に研究と発表の同意を得たことを記述している
 |  |
| 1. 対象者に不利益や負担が生じないよう配慮した記述がある
 |  |
| 1. 文献の引用は正しく行い、発表先の規定に則って表記されている
 |  |
| 1. 既存の尺度は使用許諾を得ている
 |  |
| 1. 必要時、利益相反の有無を示している
 |  |
| 　10）未発表・未投稿の研究である |  |
| ６．結果は、事実を客観的に示している |  |
| ７．考察は、得られた結果に基づいた解釈で、文献検討が適切に行われている |  |
| ８．結果・結論は、研究目的に沿っており、一貫性がある |  |
| ９．研究の限界が述べられている |  |
| ■原稿の開示について |  |
| 10．対象者に開示について説明し、求められた時は開示する（開示日程が決まっている場合：　　　年　　月　　日　立ち合人の氏名：　　　　　　　　　　　） |  |
| 備考　　 |